

KENWOOD

パーソナル CD システム

CR-D3

取扱説明書 保証書付

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

・ もくじは4 ページにあります。



MP3/WMA



株式会社 JVCケンウッド

JVCKENWOOD Corporation



ユーザー登録
のすすめ

カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録 (My-Kenwood) を
お願いしています。ご登録いただけますと製品のサポート情報、製品情報
やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後の
よりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

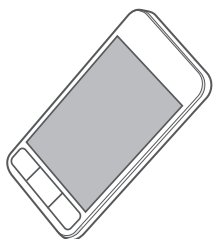
● 下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

<https://jp.my-kenwood.com>



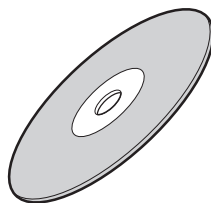
こんなことができます

BLUETOOTH 機器を聴こう



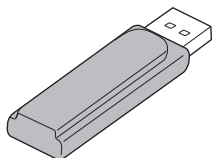
(p. 13)

音楽 CD や音楽ファイル(MP3/WMA)を聴こう



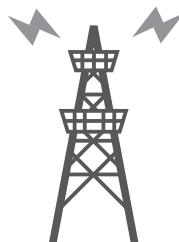
(p. 17)

USB メモリーの音楽ファイル(MP3/WMA)を聴こう



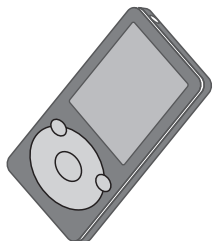
(p. 17)

ラジオ(FM/AM)を聴こう



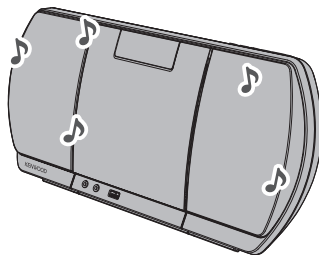
(p. 22)

外部機器の音楽ファイルを聴こう



(p. 25)

サウンドモードを調節して
好みの音質で楽しもう



(p. 29)

お知らせ

・ 本機の操作で困ったときは、「故障かな?と思ったら」(p. 36)をご覧ください。

はじめに

本書のボタン表記について

- 本書では、特に表記のないボタンはリモコンのボタンを示しています。本体のボタンに同じマークがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。

本書のその他の表記について

- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone、iPad を含みます。iPod touch、iPhone、iPad を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」、「iPad」と表記します。
- 本書の説明で「Android 端末」と表記しているときは、Android OS を搭載したスマートフォンやタブレット端末などを含みます。
- 本書では、MP3/WMA の説明をする場合、「ファイル」と「トラック」と「曲」は同じ意味で使っています。

本機のボタン操作についてのご注意

本機のボタンの押し方には、2 通りあります。

ボタンを短めに押す:

ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押しすぎると本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押し時間や力を調節して数回試してみてください。



ボタンを長めに押す:

ボタンを長めに押し続け、目的の動作が実行された後に、指を離してください。



レーザー製品についてのご注意

1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
2. 注意: 機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

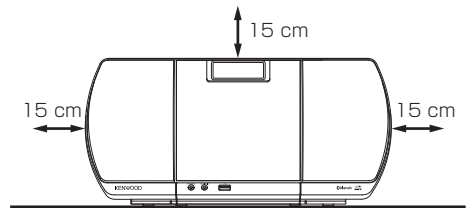
この製品の機種銘板やその他の情報は、本体の背面にあります。

本機を設置するときは

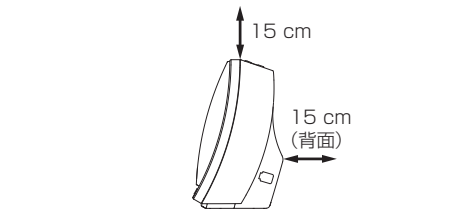
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- おお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面



側面



ご注意

- 本機の使用環境温度は、5°C～35°Cです。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

もくじ

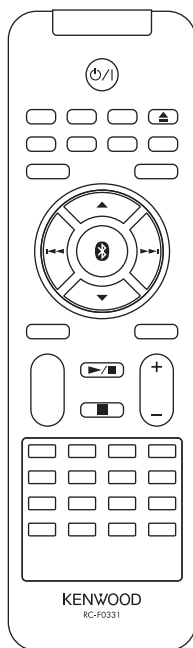
こんなことができます	2	外部機器を聴く	25
はじめに	3	外部機器を接続する	25
本機を設置するときは	3	外部機器を聴く	25
準備	5	USB メモリーに録音する	26
付属品を確認する	5	音楽 CD を録音する	26
リモコンを準備する	5	ラジオ (FM 放送) / 外部機器を録音する	27
各部の名称	6	曲を削除する	28
リモコン	6	音質や表示を変える	29
本体上面	7	サウンドモードを使う	29
本体前面	7	低音を強める	29
本体背面	8	表示される情報を変える	29
表示部	9	タイマーを使う	30
接続	10	スリープタイマーを設定する	30
電源コードを接続する	10	デイリータイマーを設定する	30
ヘッドホンを接続する	10	その他の情報	32
基本操作	11	オートパワーセーブ(節電機能)について	32
電源を入れる / 切る	11	使用できる BLUETOOTH 機器	32
時計を合わせる	11	再生できる CD とファイル	32
ふだんの使いかた	12	USB メモリーのご注意	33
表示部の明るさを設定する	12	CD-R / CD-RW のご注意	33
BLUETOOTH 機器を聴く	13	MP3 / WMA ファイルのご注意	33
NFC について	13	録音されるファイル	34
NFC で BLUETOOTH 機器を接続する	13	SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム) ...	34
手動で BLUETOOTH 機器を接続する	14	お手入れについて	34
BLUETOOTH 機器の基本操作	15	商標	35
接続を解除する	15	故障かな?と思ったら	36
電波について	16	主な仕様	38
USB メモリー / CD を聴く	17	保証とアフターサービス	42
USB メモリー / CD を準備する	17	無料修理規定	43
USB メモリー / CD の基本操作	18		
プログラム再生をする	19		
リピート再生をする	21		
ランダム再生をする	21		
ラジオを聴く	22		
放送局を受信する	22		
受信状態を改善する(アンテナ調整)	23		
放送局を記憶させる(プリセット)	24		

準備

付属品を確認する

お使いになる前にお確かめください。

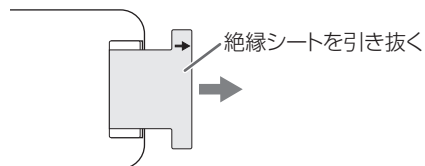
リモコン RC-F0331 (1個)



リモコンを準備する

初めてリモコンを使用するときは、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。

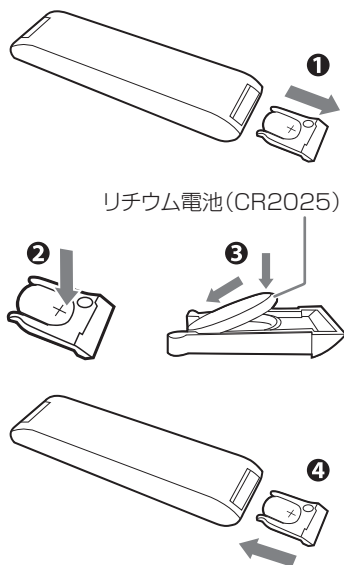
リモコン背面



電池を交換する

操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったりしたときは、新しい電池と交換してください。

電池の+と-の向きを正しく入れてください。



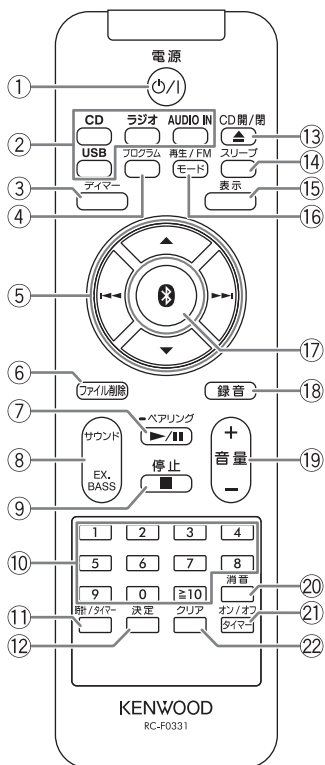
お知らせ

付属の電池について

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお使いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。
- 落としたりぶついたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

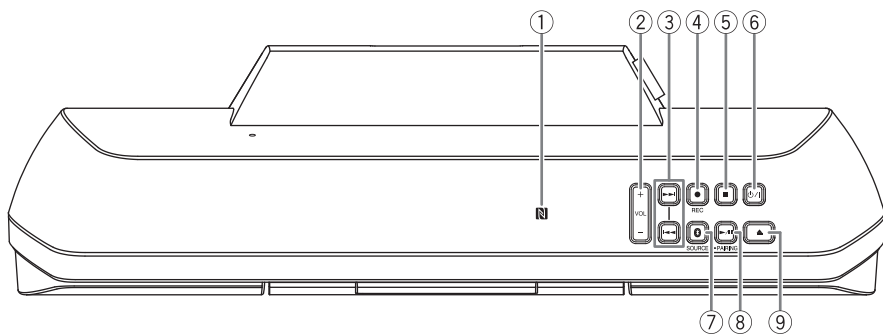
各部の名称

リモコン



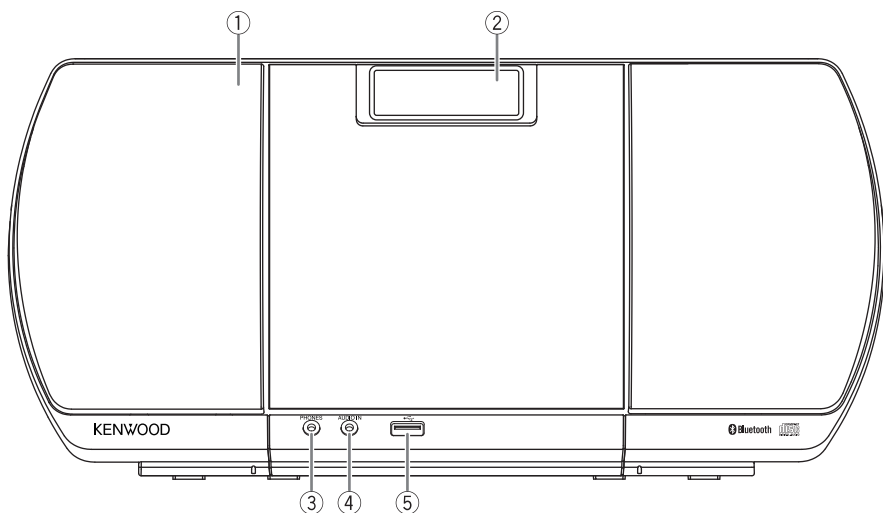
- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 電源ボタン | ⑬ ▲(CD開/閉)ボタン |
| ② ソース(音源)切換ボタン | ⑭ スリープボタン |
| ③ ディマーボタン | ⑮ 表示ボタン |
| ④ プログラムボタン | ⑯ モード(再生/FM)ボタン |
| ⑤ ◀▶▶▶/▼/▲ボタン | ⑰ BLUETOOTHボタン |
| ⑥ ファイル削除ボタン | ⑱ 録音ボタン |
| ⑦ ▶/ (ベアリング)ボタン | ⑲ 音量+/-ボタン |
| ⑧ サウンド/EX.BASSボタン | ⑳ 消音ボタン |
| ⑨ ■(停止)ボタン | ㉑ タイマー(オン/オフ)ボタン |
| ⑩ 数字ボタン | ㉒ クリアボタン |
| ⑪ 時計/タイマーボタン | |
| ⑫ 決定ボタン | |

本体上面



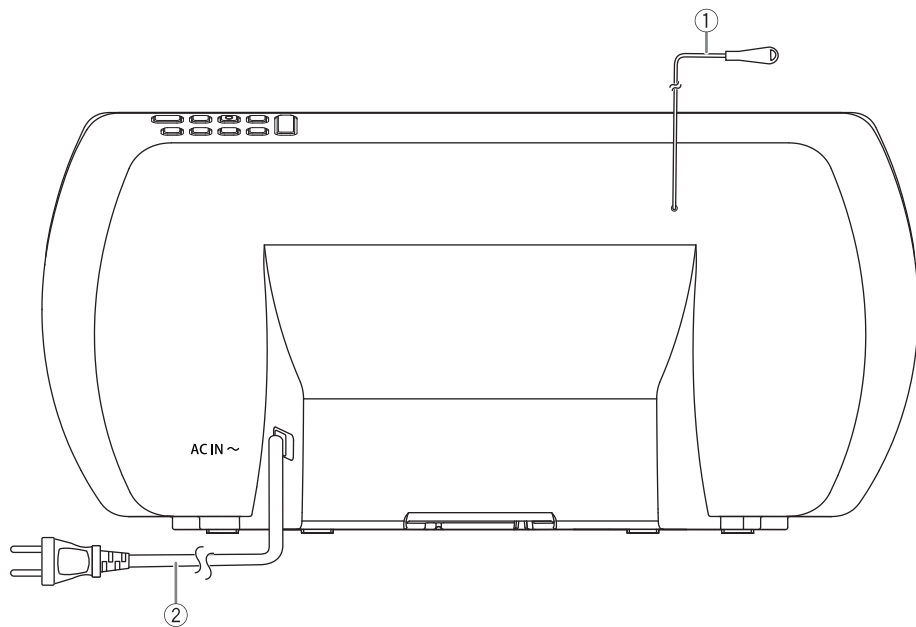
- ① N マーク(NFC アンテナ)
- ② VOL +/- ボタン
- ③ ▶/||◀ ボタン
- ④ ●(REC)ボタン
- ⑤ ■(停止)ボタン
- ⑥ 電源(電源)ボタン
- ⑦ SOURCE ボタン(BLUETOOTH ランプ)
- ⑧ ▶/|| (PAIRING) ボタン
- ⑨ ▲(CD 開/閉)ボタン

本体前面



- ① リモコン受光部
- ② 表示部
- ③ PHONES 端子(ヘッドホン端子)
- ④ AUDIO IN 端子
- ⑤ USB 端子

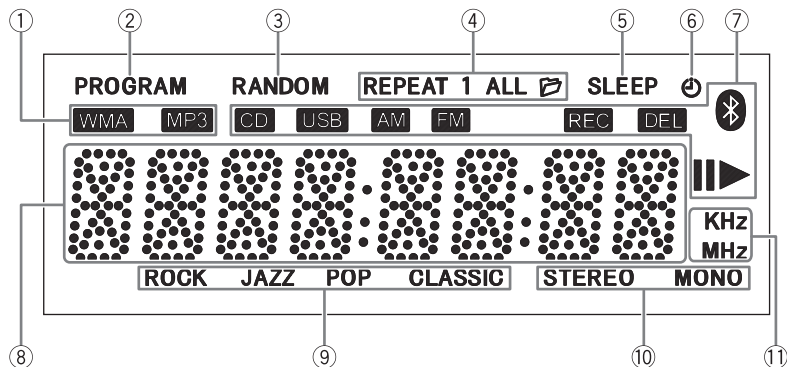
本体背面



① FM アンテナ

② 電源コード

表示部



① オーディオファイルの種類

再生しているオーディオファイルの種類(MP3/WMA)に応じて点灯します。

② PROGRAM アイコン

ソース(音源)が「USB」または「CD」のとき、プログラム再生中に点灯します。


③ RANDOM アイコン

ソース(音源)が「USB」または「CD」のとき、ランダム再生中に点灯します。

④ リピートモードアイコン

ソース(音源)が「USB」または「CD」のとき、リピート再生中に点灯します。

REPEAT 1 : 1曲リピートのときに点灯します。

REPEAT  : リピートの範囲が現在のグループ内のときに点灯します。

REPEAT ALL : 全曲リピートのときに点灯します。

⑤ SLEEP アイコン

スリープタイマーを設定すると、点灯します。

⑥ タイマーアイコン

デイリータイマーを設定すると、点灯します。

⑦ 各ソース(音源)の状態

CD アイコン : ソース(音源)を CD にすると、点灯します。


USB アイコン : ソース(音源)を USB メモリーにすると、点灯します。

AM アイコン : ソース(音源)をラジオの AM 放送にすると、点灯します。


FM アイコン : ソース(音源)をラジオの FM 放送にすると、点灯します。

REC アイコン : USB メモリーに録音するときに、点灯します。

DEL アイコン : USB メモリーに録音した曲を削除するときに、点灯します。

 アイコン : ソース(音源)を BLUETOOTH 機器にすると、点灯します。

 : 一時停止中に点灯します。

 : 再生中に点灯します。

⑧ テキスト表示

各ソース(音源)の情報を表示します。

⑨ サウンドモードアイコン

サウンドモードを設定すると、点灯します。

⑩ FM モードアイコン

STEREO : ステレオ放送受信中に点灯します。

MONO : FM モードで、モノラル受信中に点灯します。

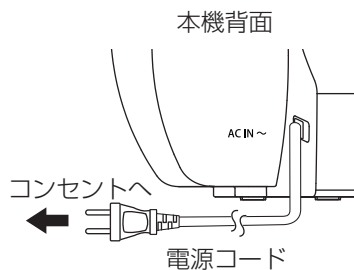
⑪ kHz / MHz アイコン

放送局の周波数を表示するときに点灯します。

接続

電源コードを接続する

電源コードのプラグをコンセントへ差し込んでください。



- 出かけるときや長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

ヘッドホンを接続する

ヘッドホンを装着する前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前に、音量を最小にしておいてください。

お知らせ

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- 市販の標準3極タイプ・ステレオミニプラグのヘッドホンをお使いください。



基本操作

電源を入れる／切る

リモコン

電源



本体



時計を合わせる

タイマーなどを利用するために本機の時計を設定します。

本機の電源が切れているとき(スタンバイ中)に

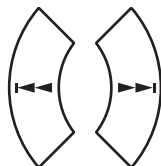
1 時計設定表示にする

時計/タイマー



2 時計の時間表示を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

押すたびに、表示が切り換わります。

24 HOUR : 24 時間表示

12 HOUR : 12 時間表示

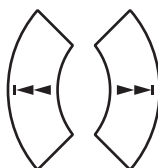
3 時計設定を開始する

決定



4 「時」を合わせる

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

5 決定する

決定



6 手順 4~5 を繰り返して、「分」を合わせる

お知らせ

- 操作の途中で[クリア]ボタンを押すと、前の手順に戻ります。
- 本機の時計は月に1、2分程度のズレが生じる場合があります。定期的に時計を合わせ直すことをおすすめします。
- 電源を抜いたり、停電で電源が切れたりした場合は、時計を合わせ直してください。
- 本機の電源が入っているときに、[時計/タイマー]ボタンを押すと、時計を数秒間表示します。

ふだんの使いかた

1 ソース(音源)を選ぶ

リモコン



本体



SOURCE

(くり返し押し)

2 音量を調節する

リモコン



(くり返し押し)

本体



(くり返し押し)

・調節範囲: MIN. 1 ~ 30、MAX

表示部の明るさを設定する

ディマー



(くり返し押し)

押すたびに表示部の明るさが切り換わります。

明るい → 暗い → 消灯 → (最初に戻る)

お知らせ

- ・サウンドモードを使って、お好みの音質に調節できます。(p. 29)

BLUETOOTH 機器を聴く

お手持ちのスマートフォンなどの BLUETOOTH 機器の音を本機で聴くことができます。

初めて接続するときは、BLUETOOTH 機器と本機をペアリング(登録)する必要があります。

NFC について

NFC とは、近距離無線通信を行う技術です。お使いの BLUETOOTH 機器が NFC に対応している場合は、本機にタッチするだけで、かんたんに BLUETOOTH 接続ができます。

お使いの機器が NFC による BLUETOOTH 接続に対応していない場合や、対応状況がご不明な場合は、手動で接続してください。(p. 14)

Android 機器(スマートフォンなど)の NFC の有無を確認する

スマートフォンの「設定」から「その他の設定」をタップし、NFC 設定があることを確認してください。

ご注意

- お使いの BLUETOOTH 機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。
- Android 機器では、NFC 対応のほか OS が Android 4.1 以降である必要があります。お使いの機器をご確認ください。
- おサイフケータイなどの機能に影響する場合がありますので、ご利用の NFC 決済アプリのホームページなどをご確認ください。

NFC で BLUETOOTH 機器を接続する

ソース(音源)を BLUETOOTH に切り換えてから、本機と BLUETOOTH 機器(以下、相手機器)を接続してください。

1 ソース(音源)を「BT」にする

リモコン



本体



SOURCE

(くり返し押す)

- 「BT」アイコンが点灯します。

2 相手機器の電源を入れ、NFC を有効にする

相手機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。

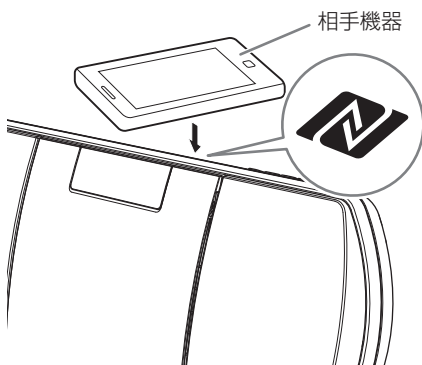
詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

Android 機器(スマートフォンなど)の操作例

- ① 「設定」→「その他の設定」をタップする
- ② NFC 設定 → 「Reader/Writer, P2P」をオンにする

3 相手機器の NFC アンテナ部分を本機の N マークにタッチする

- 近づけるだけでは作動しません。マークにタッチしてください。相手機器によっては、わずかなズレでも通信できず、ペアリングおよび接続ができないことがあります。
- スマートフォンの画面に「BLUETOOTH 接続しますか?」などの表示が出た場合は、「はい」をタップしてください。



- 「PAIRING」表示が点滅し、本機と相手機器がペアリング(接続)されます。
- 接続が完了すると、「CONNECT」と表示され、[SOURCE] ボタンの BLUETOOTH ランプが青色に点灯します。

お知らせ

- 接続が完了したら、相手機器を本機から離してください。相手機器を本機にタッチしたままにすると、接続が切れるなど不安定な状態になります。
- NFC でタッチした後に接続が切れる場合は、相手機器(スマートフォンなど)側の「Bluetooth」を「オン」にしてください。
- 接続できないときや、本機から音が出ないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。
それでも接続できないときは、手動で接続してください。(p. 14)

手動で BLUETOOTH 機器を接続する

本機と BLUETOOTH 機器(以下、相手機器)を初めて接続するときは、以下の方法でペアリングしてください。

1 ソース(音源)を「BT」にする

リモコン



本体



SOURCE

(くり返し押す)

- ・「BT」アイコンが点灯します。

2 ペアリングモードにする

リモコン



(押し続ける)

本体



-PAIRING

(押し続ける)

- ・ペアリングモードに入ると、「PAIRING」表示が点滅します。
- ・ペアリングモードを中止するときは、「■」ボタンを押します。「PAIRING」表示が消灯します。

3 相手機器の電源を入れ、ペアリングができる状態にする

相手機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

Android 機器(スマートフォンなど)の操作例

- ① 「設定」→「無線とネットワーク」の順にタップする
- ② 「Bluetooth」にチェックマークがついていない場合は、「Bluetooth」をタップし、チェックマークをつけて、「オン」にする
- ③ 「Bluetooth 設定」→「端末のスキャン」(もしくは同じ意味の項目)の順にタップする

iOS 機器(iPhone/iPad/iPod touch)の操作例

以下のいずれかの手順を参考にしてください。

「設定」→「Bluetooth」の順にタップする

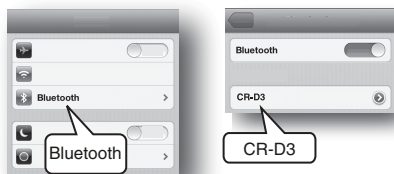
または、

「設定」→「一般」→「Bluetooth」の順にタップする

上記のいずれの場合も、「Bluetooth」がオフになっている場合は、「オン」にする

4 相手機器で「CR-D3」を選ぶ

iOS 機器 (iPhone/iPad/iPod touch) の画面例



- ・ペアリングが完了し、相手機器と本機が自動的に接続されます。
- ・接続が完了すると、「CONNECT」と表示され、「SOURCE」ボタンの BLUETOOTH ランプが青色に点灯します。
- ・ペアリング中にパスキー(暗証番号)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

5 相手機器を再生する

あらかじめ、相手機器の音楽再生アプリを立ち上げておいてください。

リモコン



本体



-PAIRING

- ・自動的に再生が始まる場合もあります。
- ・再生が始まらない場合は、相手機器側で再生してください。

お知らせ

- ・ソース(音源)を「BT」に切り換え、「▶/||」ボタンを押すと、本機と最後に接続した相手機器と再接続します。
- ・ペアリングできないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。
- ・相手機器によっては、本機と接続できない場合があります。

BLUETOOTH 機器の基本操作

再生する

最後に接続した BLUETOOTH 機器と接続し、再生することができます。

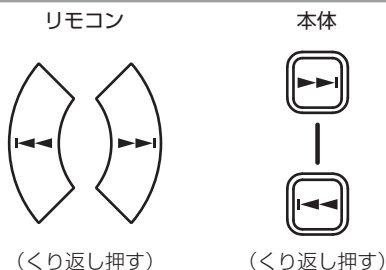


一時停止する



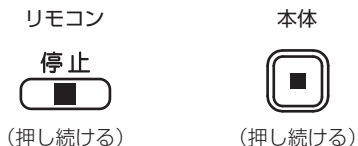
• もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

曲を選ぶ



接続を解除する

1 相手機器との接続を解除し、ペアリングモードにする



- ペアリングモードに入ると、「PAIRING」表示が点滅します。
- 他の BLUETOOTH 機器と接続できます。(p. 13、14)
- 他の BLUETOOTH 機器と接続しないときは、手順 2 に進んでください。

2 ペアリングモードを解除する



- 「BT」と表示されます。

お知らせ

以下の場合も自動的に接続が解除されます。

- 本機または相手機器の電源を切ったとき
- 他のソース(音源)に切り換えたとき

ご注意

- BLUETOOTH で接続できる距離は、最大 10m です。お使用の環境によっては、これよりも短くなります。
- iPhone やスマートフォンを BLUETOOTH 接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
- 本機にはマイク機能は搭載されておりません。通話する場合には、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。
- BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。
- BLUETOOTH 機器によっては、操作(再生、一時停止)ができない場合があります。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

-分解/改造すること

-本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS 変調方式を表します。

1 : 電波干渉距離は 10 m です。

■■■■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁などをはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。

- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。

- 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。

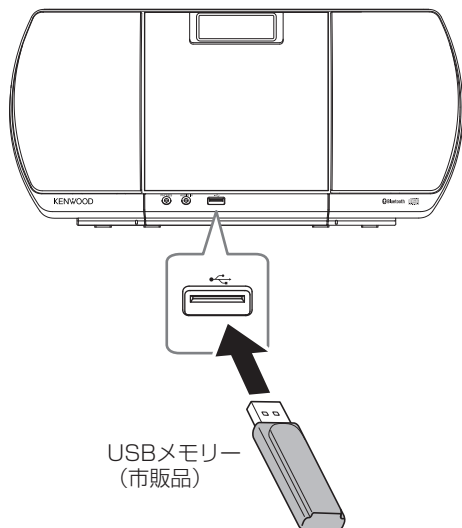
- ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

USB メモリー / CD を聴く

USB メモリー / CD を準備する

USB メモリーを接続する



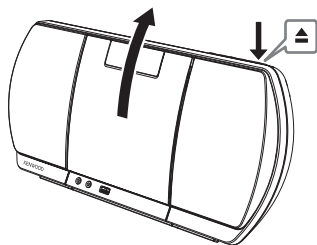
ご注意

- USB メモリーは、電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中に取りはずすと、ファイルや USB メモリーのファイルシステムが破損する恐れがあります。
- ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。本機の AUDIO IN 端子に接続してください。(p. 25)
- スマートフォンやポータブルプレーヤーなどを USB 端子に接続しても、充電はできません。

CD を入れる

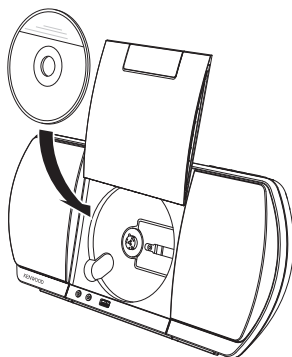
1 CD ドアを開ける

- リモコンまたは本体の[▲]ボタンを押してください。



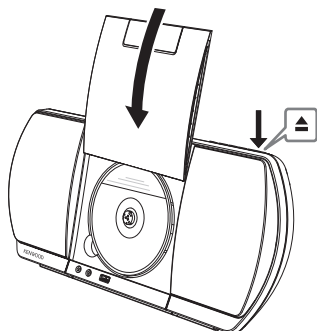
2 CD を入れる

- 本体が倒れないように、手で支えてください。
- 「カチッ」と音がするまで CD を入れてください。



3 CD ドアを閉める

- リモコンまたは本体の[▲]ボタンを押してください。



- CD 認識中は「READING」と表示されます。

USB メモリー / CD の基本操作

再生する

1 ソース(音源)を「CD」または「USB」にする

リモコン



本体



SOURCE

(くり返し押す)

2 再生する

リモコン



本体



→PAIRING

停止する

リモコン



本体



一時停止する

リモコン



本体

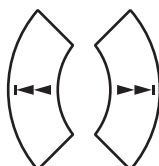


→PAIRING

もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

曲番号を指定して曲を選ぶ(音楽 CD のみ)

リモコンの数字ボタンを押して、曲を選びます。

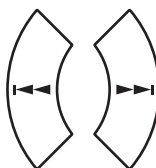
例:

- 3 曲目を選ぶとき: ③
- 17 曲目を選ぶとき: $\geq 10 \rightarrow ① \rightarrow ⑦$
- 20 曲目を選ぶとき: $\geq 10 \rightarrow ② \rightarrow ⑩$

早戻し / 早送りする

再生中に

リモコン



(押し続ける)

本体



(押し続ける)

[◀◀] / [▶▶] ボタンから指を離すと、通常再生に戻ります。

グループを選ぶ(MP3/WMA ファイルのみ)



(くり返し押す)

プログラム再生をする

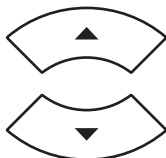
音楽 CD の場合は 20 曲まで、MP3/WMA ファイルの場合は 64 曲まで、お好みの順で再生します。

- 1 USB メモリーまたは CD の再生を停止する
- 2 プログラムモードを表示させる



- ・「PROGRAM」アイコンが点灯します。

- 3 グループを選ぶ(MP3/WMA ファイルのみ)



(くり返し押す)

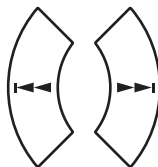
- ・リモコンの数字ボタンでは選べません。

- 4 グループを登録する(MP3/WMA ファイルのみ)



- 5 曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

- ・リモコンの数字ボタンでも曲を選べます。(音楽 CD のみ。MP3/WMA ファイルでは選べません)

例:

- 3 曲目を選ぶとき: ③
- 17 曲目を選ぶとき: $\geq 10 \rightarrow ① \rightarrow ⑦$
- 20 曲目を選ぶとき: $\geq 10 \rightarrow ② \rightarrow ⑩$

- 6 曲を登録する



- 7 手順 3~6 をくり返して、他の曲を登録する

- 8 再生する

リモコン



本体



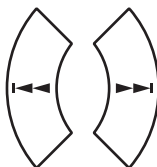
-PAIRING

- ・プログラムした順序で曲が再生されます。
- ・設定中および再生中は、「PROGRAM」アイコンが点灯します。

プログラム内容を確認する

プログラム再生停止中に

リモコン



(くり返し押す)

本体



(くり返し押す)

登録した曲が順に表示されます。

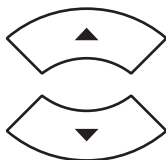
プログラムに曲を追加する

プログラム再生停止中に

1 プログラムモードを表示させる



2 グループを選ぶ(MP3/WMA ファイルのみ)



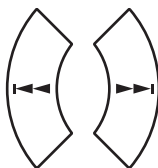
(くり返し押し)

3 グループを登録する(MP3/WMA ファイルのみ)



4 曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押し)

本体



(くり返し押し)

5 曲を登録する



- プログラムの最後に曲が追加されます。

プログラム再生を解除し内容を消去する

プログラム再生停止中に

リモコン



本体



「PROGRAM」アイコンが消灯し、プログラム内容が消去されます。

で注意

- 以下の場合もプログラム内容が消去され、プログラム再生が解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - ソース(音源)が「CD」のときに、CDを取り出す

リピート再生をする

再生中または停止中に

1 リピートの種類を選ぶ


再生 / FM


(くり返し押し)

押すたびに設定が切り換わります。

消灯(切) : リピート再生を解除します。

REPEAT 1 : 現在の曲をくり返します。

REPEAT  : 現在のグループの曲をくり返します。(MP3/WMAのみ)

REPEAT ALL : USB メモリーまたは CD のすべての曲をくり返します。

2 (停止中のときは)再生する

リモコン



本体



→PAIRING

お知らせ

- プログラム再生中に「REPEAT」にすると、プログラムをリピート再生します。

リピート再生を解除する

「REPEAT」アイコンを消灯させる

再生 / FM


(くり返し押し)

- 以下の場合もリピート再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - ソース(音源)が「CD」のときに、CD を取り出す
 - 停止する

ランダム再生をする

再生中または停止中に、「RANDOM」を選ぶ

再生 / FM


(くり返し押し)

お知らせ

- グループ内ランダムではなく、全曲ランダムになります。

ランダム再生を解除する

ランダム再生中または停止中に、「RANDOM」アイコンを消灯させる

再生 / FM


(くり返し押し)

- 以下の場合もランダム再生は解除されます。
 - 電源を切る
 - ソース(音源)を変える
 - ソース(音源)が「CD」のときに、CD を取り出す
 - 停止する

ラジオを聴く

FM 放送を聴く前に、必ず FM ワイヤアンテナを伸ばしてください。

放送局を受信する

1 ソース(音源)を「FM」または「AM」にする

リモコン

ラジオ



(くり返し押す)

本体

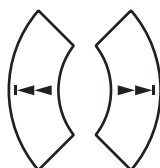


SOURCE

(くり返し押す)

2 放送局を選ぶ

リモコン



本体



- 押し続けると、自動的に選局を始め、放送を受信すると停止します。選局を途中で停止したいときは、もう一度押します。
- くり返し押すと、FM では 0.1 MHz ずつ、AM では 9 kHz ずつ受信周波数が変わります。

FM モードを切り換える

FM ステレオ放送が聴きにくいときは、モノラル受信にすると聴きやすくなります。

再生 / FM

モード

(くり返し押す)

押すたびに設定が切り換わります。

STEREO : ステレオ自動受信
受信中は「STEREO」アイコンが点灯します。

MONO : モノラル受信
「MONO」アイコンが点灯します。

お知らせ

- モノラル受信では、受信状態は改善されますがステレオ効果は失われます。

受信状態を改善する(アンテナ調整)

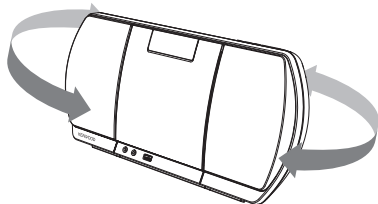
受信状態が良くないときは、放送を聴いて確認しながら、アンテナを調整してください。

ご注意

- 集合住宅など鉄筋構造の住居では、受信状態が悪くなります。放送を良好に受信できない場合は、本機を窓際に近づけてください。
- AM 放送受信の妨げになる場合があるため、本機は電気製品や他のケーブルからできるだけ離して設置してください。

AM 受信感度を調整する

AM アンテナは本機に内蔵されています。本機を左右に動かして、最も受信状態の良い方向に向けて置きます。

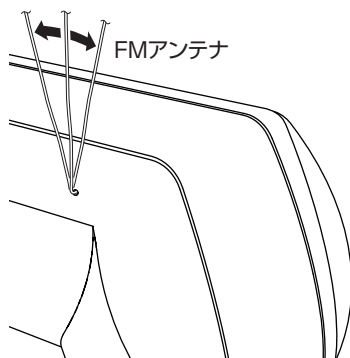


FM ワイヤアンテナを調整する

本機背面の FM ワイヤアンテナを調整し、固定します。

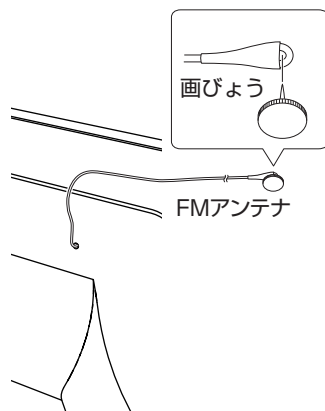
1 FM 放送を聴きながら、FM アンテナの位置を調整する

高さや方向を変えて、最も受信状態の良い位置を見つけます。



- FM アンテナは、できるだけまっすぐに張ってください。

2 画びょうやテープなどで、アンテナの先を軽くはさんでとめる



ご注意

- 画びょうを使うときは、指先などにけがをしないようにご注意ください。
- FM アンテナが結ばれているときは、ほどいてまっすぐに伸ばしてください。

放送局を記憶させる(プリセット)

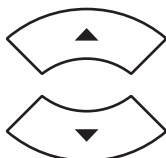
FMの放送局を最大20局、AMの放送局を最大10局まで記憶させることができます。

- 1 記憶させたい放送局を受信する
- 2 プリセット番号を表示する



- ・表示の数字部分が点滅します。数字が点滅している間に、以下の設定をしてください。

- 3 記憶させたいプリセット番号を選ぶ

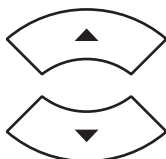


(くり返し押す)

- 4 記憶させる



記憶した放送局を呼び出す



(くり返し押す)

- ・リモコンの数字ボタンでもプリセット番号を選べます。

例:

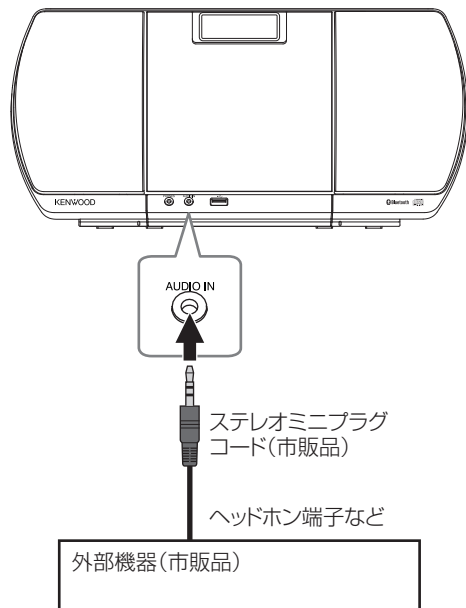
- 3局目を選ぶとき: ③
- 17局目を選ぶとき: $\geq 10 \rightarrow ① \rightarrow ⑦$

外部機器を聴く

外部機器を接続する

・お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

- 1 本機の音量を最小にする
- 2 AUDIO IN 端子に外部機器を接続する



外部機器を聴く

- 1 ソース(音源)を「AUDIO IN」にする
リモコン 本体
 
SOURCE
(くり返し押す)
- 2 外部機器の再生を始める
- 3 音量を調節する

USB メモリーに録音する

本機では、音楽 CD、ラジオ (FM 放送)、外部機器の音を USB メモリーに録音することができます。

あなたがラジオ放送や CD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

ご注意

- 録音する前に、空き容量が十分にある USB メモリーを USB 端子に接続してください。(p. 17)

お知らせ

- 録音中に本機の音量や音質を変えても、録音される音声には影響ありません。
- ファイル形式は MP3(ビットレート:128 kbps)で録音されます。
- ファイル、フォルダーの構造については「録音されるファイル」(p. 34)をご覧ください。

音楽 CD を録音する

ご注意

- MP3/WMA ファイルを記録した CD-R など、音楽 CD 以外のディスクから録音することはできません。
- 録音中に本機に衝撃を与えたり、揺らしたりしないでください。録音が正常に行われられない可能性があります。

お知らせ

- 録音時、CD のランダム再生やリピート再生はできません。

音楽 CD を全曲デジタル録音する

1 ソース(音源)を「CD」にする

リモコン



本体



SOURCE

(くり返し押す)

2 録音する

リモコン



本体



REC

- 「WAITING」と表示され、録音が始まります。
- 録音中は、「USB」アイコンと「REC」アイコンが点滅します。
- CD の最後まで録音が終わると、「END REC」と表示され、自動的に停止します。
- 途中で録音を停止したいときは、**[■]** ボタンを押します。

お知らせ

- 曲ごとにファイルができます。

音楽 CD から 1 曲だけデジタル録音する

1 曲だけ選んで録音することもできます。

1 ソース(音源)を「CD」にする

リモコン



本体

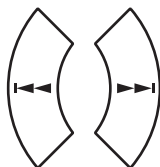


SOURCE

(くり返し押し)

2 録音をしたい曲を選ぶ

リモコン



(くり返し押し)

本体



(くり返し押し)

3 再生または一時停止にする

リモコン



本体



-PAIRING

4 録音する

リモコン



本体



REC

- 選んだ曲の最初から録音が始まります。
- 「WAITING」と表示され、録音が始まります。
- 録音中は、「USB」アイコンと「REC」アイコンが点滅します。
- 1 曲録音が終わると、「END REC」と表示され、自動的に停止します。
- 途中で録音を停止したいときは、「■」ボタンを押します。

ラジオ(FM 放送) / 外部機器を録音する

録音は通常速度です。録音中に音が聴けます。

お知らせ

- ラジオ(AM 放送)を録音することはできません。

録音する

ご注意

- 録音ファイルが 2 GB(約 20 時間)に達した場合、自動的に録音が停止します。

1 録音したいソース(音源)を選ぶ

2 録音する

リモコン



本体



REC

- 外部機器から録音する場合は、外部機器の再生を始めてください。
- 「WAITING」と表示され、録音が始まります。
- 録音中は、「USB」アイコンと「REC」アイコンが点滅します。

3 録音を停止する

リモコン



本体



- 「END REC」と表示されます。

曲を削除する

USB メモリーに録音されている曲を削除することができます。

ご注意

- 曲を削除する前に、USB メモリーを USB 端子に接続してください。
- 削除した曲は元に戻すことができません。削除するときは、よく確認してください。

1 ソース(音源)を「USB」にする

リモコン



本体



SOURCE

(くり返し押し)

2 削除したい曲またはフォルダーを選び、再生または停止の状態にする

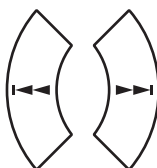
3 削除待機にする

ファイル削除

- 「DEL-」表示が点灯し、削除待機になります。
- [■] ボタンを押すと、削除を中止します。

4 削除方法を選ぶ

リモコン



(くり返し押し)

本体



(くり返し押し)

押すたびに、表示が切り換わります。

DEL- ONE : 選んだ曲を削除します。

DEL- DIR : 選んだフォルダーを削除します。

DEL- ALL : USB メモリー内のすべての曲とフォルダーを削除します。
音楽ファイル以外のデータも削除されますので、ご注意ください。

5 削除する

ファイル削除

- 「DELETE」表示と「DEL」アイコンが点灯します。曲またはフォルダーの削除が終わると、「DELETE」表示と「DEL」アイコンが消灯します。

音質や表示を変える

サウンドモードを使う

曲の種類に合わせて、サウンドモードを選べます。



(くり返し押し)

一度押すと現在の設定を表示し、さらに押しと設定が切り換わります。

- FLAT : 音質をフラットにしたいとき
ROCK : ロックを聴くとき
JAZZ : ジャズを聴くとき
POP : ポップミュージックを聴くとき
CLASSIC : クラシックを聴くとき

お知らせ

- ヘッドホンからの音声にも効果があります。
- 録音音質に影響はありません。

低音を強める



(くり返し押し)

押すたびに「OFF」と「EX BASS」に切り換わります。

お知らせ

- ヘッドホンからの音声にも効果があります。
- 録音音質に影響はありません。

表示される情報を変える

MP3/WMA ファイルの再生中に



「ID3 ON」と表示された後、各種の情報表示に切り換わります。
もう一度押しすと、「ID3 OFF」と表示された後、通常
の表示に戻ります。

お知らせ

- ソース(音源)によって、表示される情報は異なります。
- 本機は ID3 TAG VERSION1,2(曲名、アーティスト名、アルバム名)を表示できます(ただし半角英数字のみ、小文字は大文字で表示されます)。

タイマーを使う

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動で電源が切れる機能です。



(くり返し押す)

押すたびに電源が切れるまでの時間(単位:分)が次のように切り換わります。

SLEEP 10 → SLEEP 20 → SLEEP 30 →

SLEEP 40 → SLEEP 50 → SLEEP 60 →

SLEEP 70 → SLEEP 80 → SLEEP 90 →

SLEEPOFF → (最初に戻る)

- スリープタイマーが設定されているときは、「SLEEP」アイコンが点灯します。
- スリープタイマーを解除するときは、「SLEEPOFF」を選んでください。

残り時間を確認する



残り時間を数秒間表示します。

デイリータイマーを設定する

デイリータイマーを使うと、お好みの音楽で目覚めることができます。

ご注意

- あらかじめ時計を合わせておいてください。(p. 11)
- あらかじめソース(音源)を準備し、動作することを確かめてください。

本機の電源が切れているとき(スタンバイ中)に

1 タイマー設定表示にする

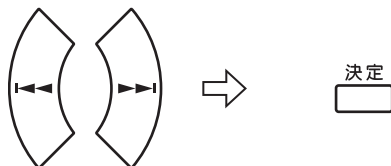
時計/タイマー



(押し続ける)

- 「ON TIME」と表示された後、タイマー設定表示になります。

2 タイマーの内容を設定し、決定する



(くり返し押す)

以下の各項目を設定してください。

- タイマーの開始時刻と終了時刻の「時」、「分」
- 再生するソース(音源)
「CD」、「USB」、「FM」、「AM」から選びます。
- 再生するソース(音源)が「FM」または「AM」のときは、プリセット番号
- 音量

3 電源を切る



リモコン

電源



本体



- デイリータイマーは、本機の電源が切れているときのみ作動します。
- デイリータイマーが設定されているときは、「」アイコンが点灯します。
- デイリータイマーの作動中は、作動中の「」アイコンが点滅します。
- デイリータイマーは一度設定すると、毎日同じ内容で作動します。
- 開始時刻と終了時刻に、同じ時刻を設定することはできません。

お知らせ

- 操作の途中で[クリア]ボタンを押すと、前の手順に戻ります。

デイリータイマーを解除する

オン/オフ

タイマー

- 「」アイコンが消灯します。

一度解除したデイリータイマーを、内容を変えずに再設定する

オン/オフ

タイマー

- 「」アイコンが点灯し、設定内容が表示されます。

お知らせ

- 停電したときは、デイリータイマーの設定が解除されます。本機の時計を設定(p. 11)した後に、上記の方法でデイリータイマーを再設定してください。

その他の情報

オートパワーセーブ(節電機能)について

以下のような状態で約 15 分間何も操作しない場合、本機の電源が自動的に切れます。

ソース(音源)	本機の状態
BLUETOOTH	<ul style="list-style-type: none">• BLUETOOTH 機器を接続していないとき• 音声入力がないとき
CD	<ul style="list-style-type: none">• CD がないとき• 停止状態のとき
USB	<ul style="list-style-type: none">• USB メモリーを接続していないとき• 停止状態のとき
AUDIO IN	<ul style="list-style-type: none">• 音声が入力されていないとき

お知らせ

- 途中でボタン操作をした場合は、その時点から 15 分間カウントし直します。

使用できる BLUETOOTH 機器

- BLUETOOTH での接続には、BLUETOOTH 2.1+EDR に対応し、A2DP と AVRCP のプロファイルに対応している必要があります。

再生できる CD とファイル

- CD 規格(CD-DA)に準拠しない CD については、動作や音質を保証できません。CD を再生する際は、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠する CD であることをお確かめください。
- CD の特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD の使用上のご注意をよくお読みください。
- CD テキストの表示には対応しておりません。

CD	下記のマークのある CD を再生することができます。   
ファイル	<ul style="list-style-type: none">• 音楽 CD フォーマットの CD-R/CD-RW• CD-R/CD-RW または USB メモリーの MP3/WMA ファイル

USB メモリーのご注意

- USB メモリーの容量は 16GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くなります。
- USB メモリーのセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- すべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。
- USB メモリーの取扱説明書もご覧ください。

CD-R / CD-RW のご注意

お客様が編集した CD-R/CD-RW は、ファイナライズ処理されている CD に限り本機でお楽しみいただけます。

- CD-R/CD-RW を作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level1」にしてください。また、パケットライト方式(UDF フォーマット)は使用しないでください。
- 音楽用の CD フォーマットまたは MP3/WMA ファイル以外で記録したことのある CD-RW は、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- MP3/WMA ファイルの入った CD-R/CD-RW は、通常の音楽 CD よりも読み取りに時間がかかります。(フォルダーやファイルの構成により読み取り時間は異なります。)

MP3 / WMA ファイルのご注意

- 再生できる MP3/WMA ファイルは<.mp3>または<.wma>の拡張子がついているファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成された MP3/WMA ファイルを再生できません。

サンプリング周波数	32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
転送レート	MP3: 32 kbps ~ 320 kbps WMA: 32 kbps ~ 320 kbps

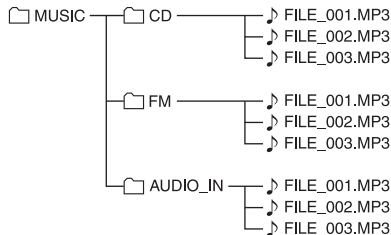
- 本機は USB メモリー 1 つあたり最大 99 のフォルダーおよび 999 曲を認識します。また、CD1 枚あたり最大 99 のフォルダーおよび 999 曲を認識します。
- DRM(著作権保護)ファイルは再生できません。
- 1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できない MP3/WMA ファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
- MP3/WMA ファイルの再生順について

オーディオファイルの再生順について
(オーディオファイルを含まないフォルダーは無視されます。)

- 再生時は、先に作成したフォルダーから順番に再生します。フォルダー内では、録音した曲順で再生します。
- パソコンを使ってフォルダー名やファイル名(曲名)を変えた場合は、順番が変わることがあります。

録音されるファイル

- ・本機で録音してできるファイルは、ビットレートが 128 kbps の MP3 ファイルです。
- ・USB メモリーに「MUSIC」フォルダーが自動的に作成され、さらにその中に以下のように MP3 ファイルが録音されます。



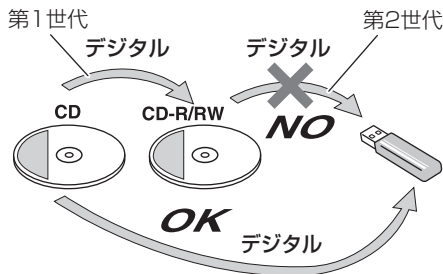
SCMS(シリアルコピーマネージメントシステム)

CD の音を他のデジタル機器 (MD や USB メモリーなど) にデジタル録音した場合、一度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をすることはできません。この決まりを SCMS (シリアル・コピー・マネージメント・システム) といいます。

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは 1 世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

ご注意

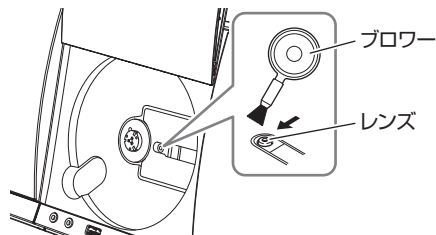
- ・この規定により、一度デジタル録音された CD から、USB メモリーにデジタル録音することはできません。



お手入れについて

CD プレーヤーのレンズのお手入れ

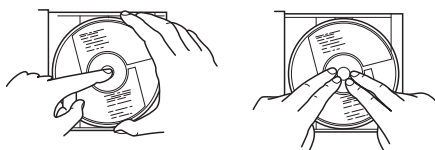
レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。CD ドアを開け、図のようにレンズを清掃してください。



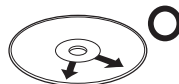
- ・ほこりなどは市販のクリーニングキットのブローアを使って、はき出してください。
- ・市販の CD レンズクリーナー (乾式タイプ) を利用してください。

CD の取り扱いとお手入れ

ケースから出すとき ケースに入れるとき



- ・CD にテープやシールを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- ・CD は曲げないでください
- ・ハートや花などの形をしたシェイプ CD (特殊形状の CD) は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- ・CD をお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



必ず内側から外側へ



連続したキズは音飛びの原因となります。

- ・シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

商標

- AirPlay, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Retina are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad Air, iPad mini, and Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark "iPhone" is used with a license from Aiphone K.K.
- Microsoft, Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、株式会社 JVC ケンウッドは、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Android は Google Inc.の商標です。
- N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- "ウォークマン"は、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ
<http://www2.jvckenwood.com/>
から最新の FAQ(よくあるご質問)
情報をご覧ください。多くのご質問
が解決できます。



カスタマーサポートセンターにご相談になる前にホーム
ページや下記をチェックしてください。

ホームページの内容は予告なく変更になることがあり
ます。

以下の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっています。
どのボタンを押しても正しく動作しないときは、一度電
源コードをはずし、しばらく待ってから接続し直してく
ださい。

共通

電源が入らない。

➔ 電源コードを正しく接続してください。

突然電源が切れてしまう。

➔ オートパワーセーブ(節電機能)が働いています。
(p. 32)故障ではありません。

設定の途中で操作が取り消されてしまう。

➔ 操作には時間制限があるものがあります。もう一
度操作し直してください。

リモコンで操作できない。

- ➔ リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮ら
れていませんか。
- ➔ リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電
池と交換してください。

音声が聴こえない。

- ➔ 音量が最小になっていませんか。
- ➔ ヘッドホンをはずしてください。

USB メモリー / CD

再生できない。

- ➔ USB メモリーを正しく接続してください。
- ➔ CD はラベル面を正面にして入れてください。
- ➔ CD またはレンズが汚れていませんか。CD または
レンズを清掃してください。(p. 24)
- ➔ 「パケットライト方式(UDF フォーマット)」で録
音された CD は再生できません。
- ➔ ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。
本機の AUDIO IN 端子に接続してください。(p. 25)
- ➔ パソコンを使って、USB メモリーを FAT32 形式で
フォーマットした後、10 曲程度転送して再生でき
るかお試しください。

MP3/WMA のグループやトラックが意図したよう に再生できない。

- ➔ 再生順は、グループやトラックを録音した書き込
みソフトによります。

USB メモリーや CD からの音声が途切れる。

- ➔ 汚れや傷のある CD は、清掃するか交換してくだ
さい。
- ➔ 正しく書き込まれた MP3/WMA ファイルを再生
してください。
- ➔ 本機の電源を切り、USB メモリーを接続し直して
ください。
- ➔ パソコンを使って、USB メモリーを FAT32 形式で
フォーマットした後、MP3/WMA ファイルを転送し
て再生できるかお試しください。

USB メモリーに録音したファイルを CD-R にコ ピーしたい。

- ➔ パソコンでの操作になりますので、お使いのパ
ソコンのメーカーにご相談ください。

ラジオ

雑音が多く放送が聴きづらい。

- ➔ AM アンテナを調節してください。(p. 23)
- ➔ FM アンテナを調節してください。(p. 23)

BLUETOOTH 機器

BLUETOOTH 機器に接続できない。

- ➔ 相手機器側の BLUETOOTH 機能がオンになっているか確認してください。
- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器が、BLUETOOTH プロファイルの A2DP に対応しているか確認してください。
- ➔ NFC でタッチした後に接続が切れる場合は、相手機器(スマートフォンなど)側の「Bluetooth」を「オン」にしてください。

本機から BLUETOOTH 機器を操作できない。

- ➔ お使いの BLUETOOTH 機器が、BLUETOOTH プロファイルの AVRCP に対応しているか確認してください。

音が途切れる。雑音が入る。

- ➔ BLUETOOTH の距離限界を超えているか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけても改善されない場合は、本機の設置場所を変更してみてください。

録音

録音できない。

- ➔ USB メモリーの空き容量がありません。
- ➔ USB メモリーの書き込み禁止を解除してください。
- ➔ SCMS でデジタル録音が禁止されています。

タイマー

デイリータイマーが作動しない。

- ➔ 電源が入っていませんか。デイリータイマーを作動させるには、電源を切ってください。

タイマー設定ができない。

- ➔ 時計が設定されていません。先に時計設定を下さい。(p. 11)

主な仕様

アンプ部

実用最大出力: 1.6 W + 1.6 W (JEITA* 8Ω)

CD プレーヤー部

対応形式: 音楽 CD、MP3、WMA、CD-R/CD-RW (ISO9660 Level1)

チューナー部


受信周波数: FM: 76.0 MHz - 95.0 MHz

AM: 531 kHz - 1629 kHz

アンテナ: FM: ワイヤアンテナ

AM: バーアンテナ (本体内置)

入出力端子

USB ホスト: 出力: DC 5 V  500 mA
仕様: USB1.1 フルスピード規格対応
対応機器: USB マスストレージクラス機器
ファイルシステム: FAT16、FAT32
対応ファイル形式: MP3、WMA

AUDIO IN: ステレオミニ (Ø 3.5 mm) x 1

PHONES (出力): ステレオミニ (Ø 3.5 mm) x 1

BLUETOOTH 部

規格: BLUETOOTH Ver. 2.1 + EDR

送信出力: Class 2

最大通信距離: 見通し距離約 10 m
(使用環境によって異なります)

使用周波数帯域: 2.4 GHz 帯

対応 BLUETOOTH
プロファイル: A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

対応コーデック: SBC

対応コンテンツ保護: SCMS-T 方式

NFC 接続: 対応

共通部

電源:	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz
消費電力:	16 W(定格消費電力) 1 W 以下(電源待機時)
最大外形寸法:	幅 370 mm × 高さ 180 mm × 奥行き 108 mm
質量:	1.9 kg

スピーカー部

スピーカーユニット:	7.5 cm コーン型
インピーダンス:	8 Ω

*は JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。
本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

<メモ>

<メモ>

保証とアフターサービス

1. 保証について

- ・保証期間—お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは「無料修理規定」をご覧ください。

2. 修理に関するご相談ならびにご不明な点は

お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

3. 補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、6年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- ・お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- ・録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

5. アフターサービスについて

- ・保証期間中は、「無料修理規定」に従って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

- ・保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- ・出張修理、持込修理のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。
- ・修理料金の仕組み(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- ① 技術料 : 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- ② 部品代 : 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- ③ 出張料 : 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- ④ 送料 : 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

- ・修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体のほかヘッドホンなど付属品も一緒にお持ちください。

6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。

- ・ This warranty is valid only in Japan.

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

5. 次の場合には保証期間内でも有料になります。

- ① 保証書のご提示のない場合。
- ② 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
- ③ 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
- ④ 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- ⑤ お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
- ⑥ 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
- ⑦ 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷（例えば、業務用の長時間使用、車両<車載用製品を除く>、船舶への搭載等）
- ⑧ 製造番号の改変及び、取り外した製品。
- ⑨ 消耗部品（例えば回転機器のベルト、乾電池、充電電池、イヤークリップ等）の交換。
- ⑩ 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。

6. 保証書は、再発行しません。大切に保管してください。

- ・ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
- ・ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店またはカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。
- ・ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

- 商品や修理（アフターサービス）に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950 FAX 045-450-2308

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

保証書

持込修理用
(日本国内専用)

品名	パーソナル CD システム	型名	CR-D3
保証対象	本体	保証期間	(お買い上げ日より) 1年間
※お買い上げ日	年	月	日
※お客様	お名前	公開用	
	ご住所		
	電話番号		
※販売店	店名		
	住所		
	電話番号	()	

※印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

KENWOOD

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 横浜市神奈川区守屋町3-12